

第14次中期経営計画(MP-14)トピック

MP-14トピック 1 ～グループ経営の推進～

グループ経営方針発表会を初めて海外で開催

2024年4月2日にMP-14マダムグループ経営方針発表会が開催されました。MP-14においては、グループ経営体制強化が重要テーマとなっており、社長の西村からは社員に対し、“Co-creation”を重要キーワードとして求めています。また、グローバル規模での社員同士の“Co-creation”を進める上でのスキルセットとして、Zero-based thinking、English communication skill、Diversity&Inclusionも

併せて求めています。

今回はそれらを体現すべく、例年行われていた日本での開催ではなく、グループ経営方針発表会としては初めてとなる海外(タイ・バンコク)での開催になりました。また、グループ全社員に向けてのメッセージを発信する会議であるため、すべてのCxOの方針発表のプレゼンテーションは英語で実施しました。

グループ経営方針発表会の開催目的

- グループ全社員に向けた経営方針の理解浸透
- グループ全体の業務最適化を意識した迅速な意思決定や効率的な事業運営の実現
- 経営陣のグループ全体に対するコミットメント表明と社員マインドセット変容の場創出

実施内容

松田CSOの進行により、冒頭に社長の西村よりMP-13の総括、MP-14中期経営計画の概要、そしてその実現に向けてグループ全社員に求めていること等をスピーチ。

続いて、3事業のCOOより事業軸として機能領域との連携強化に向けたメッセージを、その後、機能CxOよりグループシナジー最大化に向けたメッセージのプレゼンテーションを実施しました。

開催後のブレイクダウン、社員への共有

当日の様子は日本語版と英語版の動画でグループ全社員に配信されており、真のグローバル企業に向けたグループ経営方針発表会の雰囲気を感じて臨場感を持って体感できる環境を提供し、社内で共有化しております。



MP-14トピック 2 ～収益性改善～

MP-14における重要テーマ 収益改善に向けた構造改革

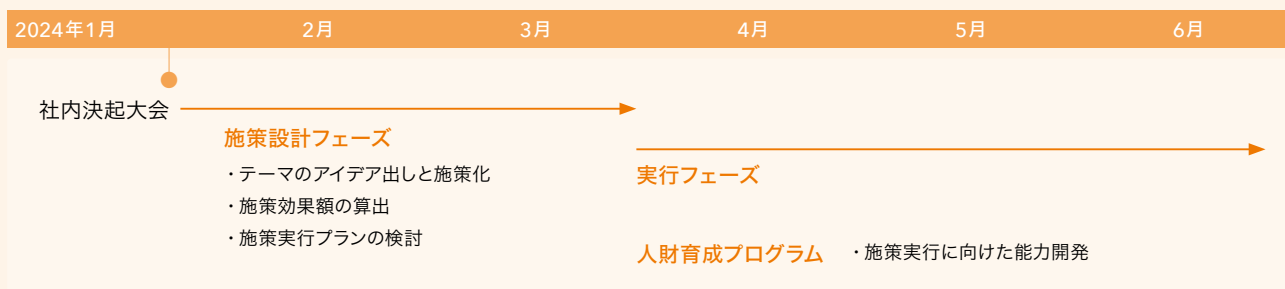
現在、マンダムグループにおいて、日本事業、インドネシア事業における喫緊の課題は「収益性」の改善です。外的要因・内的要因がさまざまある中、私たちマンダムがこれからのマーケットをリードし、お役立ちを継続していくため、全社でこの経営課題を解決する必要があります。

ご承知の通り、MP-14の最終年度である2027年にマンダムが100周年を迎え、更に次の100周年に向けての1歩を踏み出すために、マンダムを変えていきたい、変革を起こさなけ

ればならないという思いから日本において社長の西村が自らリーダーとなり、各領域を横断した構造改革プロジェクトを2024年2月よりスタートさせております。

本プロジェクトは経営課題解決を実践しながら、合わせて次の世代のマンダムを創る人財育成を基軸に据えており、マーケティング、技術、生産、人事、経営戦略領域が中心となり総勢50名ほどでスタートしております。

活動進捗状況



収益改善目標(原価低減効果も含む)

70億円以上 (4年間総額) → 成長投資・株主還元へ配分

主な施策

- 原材料のグローバル調達化
- 代替可能な原材料への切り替え
- 収益上、適正な水準の販売価格設定および改定
- 不採算商品の絞り込み 他

MP-14期間中の連結営業利益、営業利益率推移イメージ

